

令和4年6月10日

九州数学教育会会員様
九州地区各教育長様
九州地区各校長様
九州地区算数・数学担当者様



主催 公益社団法人九州数学教育会
後援 公益社団法人日本数学教育学会
鹿児島県教育委員会
鹿児島市教育委員会

第76回 九州数学教育会総会並びに 九州算数・数学教育研究(鹿児島)大会開催の御案内(2次案内)

令和4年7月27日・28日・29日に、鹿児島県において標記の大会(略称：九数教鹿児島大会)を開催いたします。

各校においては、現行学習指導要領の改訂の趣旨をふまえた算数・数学教育に関する研究、実践が、日々、展開されているものと思います。それとともに、研究、実践にかかわる様々な課題も徐々に明らかになってきていることと思います。今後は、こうした研究、実践の成果や課題を共有し、算数・数学教育のさらなる改善、充実に結びつけていくことが大切であるように考えます。こうした状況において、鹿児島県において算数・数学教育研究大会を開催できますことは、誠に意義深いことと思っております。

さて、本大会では、全体の研究主題として、「『ますます研究すべし』新時代の『資質・能力』を育成する算数・数学教育」を掲げました。この研究主題のもと、本大会が、新時代に求められる資質・能力を育むための算数・数学教育の在り方について深く議論するきっかけになればと願っております。

つきましては、本大会の趣旨や意義を御理解の上、関係の先生方に多数御参加いただきますよう御案内申し上げます。

九州数学教育会会長 添田 佳伸
鹿児島大会実行委員長 山口 武志

- 研究主題**
小学校 「『ますます研究すべし』新時代の『資質・能力』を育成する算数・数学教育」
中学校 「主体的・対話的で深い学びを実現する算数教育」
高等学校 「数学的な見方や考え方を働かせた主体的・対話的で深い学びのある数学教育」
新時代の『資質・能力』を育成する数学教育」
- 期 日** 令和4年7月27日(水)、28日(木)、29日(金)
- 会 場**
理事会・総会 オンライン開催
全体会 オンライン開催
小学校部会 オンライン開催 (会場校：鹿児島大学教育学部附属小学校)
中学校部会 オンライン開催 (会場校：鹿児島大学教育学部附属中学校)
高等学校部会 オンライン開催 (会場校：鹿児島県立甲南高等学校)
- 参加費** 3000円 (研究冊子のPDF版の代金も含む)
紙媒体での冊子を購入する場合は、別途2000円 (送料込み)
- 大会申込** 大会ホームページを御覧ください。「鹿児島県数学教育会高校部会」と検索してください。
HPアドレス (<http://cgi3.synapse.ne.jp/~kagoshimath/diarypro/diary.cgi>)
- 大会案内** 次ページ及び大会ホームページを御覧ください。

7 日 程

期日	行 事			会 場
7/27 (水)	13:00 事務局長会議(50) 14:00 九州数学教育会理事会(50) 15:00 算数・数学教育研修会(60) 演題 「学校教育における数理科学教育の展開」 講師 鹿児島大学教育学系教授 山口 武志 16:00 九州数学教育会総会・代表委員会(80)			オンライン開催
7/28 (木)	8:30 受付 9:00 開会行事(30) 9:30 全体講演(60) 演題 「解に挑む ～数学の解, 社会人としての解～」 講師 セイカ食品株式会社・代表取締役社長 玉川 浩一郎 10:30 諸連絡(10)			【全体会会場】 オンライン開催
	小学校部会	中学校部会	高等学校部会	【部会行事・講演会場】
	11:00 部会開会行事(15)	11:00 部会開会行事(15)	11:00 部会開会行事(15)	小 学 校：オンライン開催
	11:20 部会講演(60)	11:20 部会講演(60)	11:20 部会講演(60)	中 学 校：オンライン開催
	12:20 昼 食	12:20 昼 食	12:20 昼 食	高等学校：オンライン開催
	13:35 分科会①(40)	13:35 分科会①(40)	13:35 分科会①(40)	
	14:25 分科会②(40)	14:25 分科会②(40)	14:25 分科会②(40)	【分科会会場】
	15:15 分科会③(40)	15:15 分科会③(40)	15:15 分科会③(40)	小 学 校：オンライン開催
	16:05 分科会④(40)	15:55 終了	16:05 分科会④(40)	中 学 校：オンライン開催
	16:45 終了		16:45 終了	高等学校：オンライン開催
7/29 (金)	9:00 受付(30)	9:00 受付(30)	9:00 受付(30)	【公開授業会場】
	9:30 授業研究①(60)	9:30 授業研究①(60)	9:30 授業研究①(60)	小 学 校：鹿児島大学教育学部附属小学校
	10:45 授業研究②(60)	10:45 授業研究②(60)	10:45 授業研究②(60)	中 学 校：鹿児島大学教育学部附属中学校
	11:45 終了	11:45 終了	11:45 終了	高等学校：鹿児島県立甲南高等学校
				※授業は事前撮影しYouTubeで限定公開

❖事務局

事 務 局		代 表	連 絡 先
大会本部	鹿児島大学教育学部附属小学校	柏木 康良	kashiwagik@edu.kagoshima-u.ac.jp
小 学 校	鹿児島市立田上小学校	森蘭 直也	kensukyo.sho@gmail.com
中 学 校	鹿児島市立城西中学校	西浦 博巳	t740306h@kago.ed.jp
高等学校	鹿児島県立甲南高等学校	西 拓洋	nishi-takuhiro@kago.ed.jp

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、予定が変更になる場合があることを御了承ください。

【申込用QRコード】

- こちらのQRコードから申込ができます。
- 申込の際に御登録いただいたメールアドレスに、ZOOMのURLや授業動画を視聴するためのURLが届きます。
全部で24本（小学校12本，中学校6本，高等学校6本）の授業を視聴できます。



全体講演



演題 解に挑む ～数学の解，社会人としての解～

講師 玉川 浩一郎氏（セイカ食品株式会社 代表取締役社長）

プロフィール

1989年 大阪大学基礎工学部合成化学科 卒業
1989年 伊藤忠商事株式会社 入社（繊維資材貿易部）
1992年 伊藤忠商事株式会社 ソウル支店
1994年 伊藤忠商事株式会社 退職
1994年 セイカ食品株式会社 入社
2007年 セイカ食品株式会社 代表取締役社長

会社概要

セイカ食品株式会社は、菓子問屋として1903年の創業。

現在は、菓子・アイスクリーム・冷凍食品の製造・卸売業を軸に、スポーツ事業、パン製造業、介護事業等をグループ内に擁している。事業エリアも、南九州を中心としながら、着実に活動地域を拡大している。

2019年に、創業116年、株式会社設立100年の節目を迎えた。

部会講演

小学校部会



演題 主体的・対話的で深い学びを実現する算数科授業

講師 小山 正孝氏（広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

プロフィール

1986年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期教科教育学専攻中途退学
1986年 兵庫教育大学学校教育学部助手
1991年 広島大学教育学部講師，1995年 広島大学教育学部助教授
2007年 広島大学大学院教育学研究科教授 博士（教育学）
2016年 広島大学大学院教育学研究科長・教育学部長併任（4年間）
2020年 広島大学大学院人間社会科学研究科教授

主要業績

小山正孝（2010）.『算数教育における数学的理解の過程モデルの研究』. 聖文新社.

小山正孝（2021）.「研究としての授業研究の論文化：何のために、何を大切に、どのように？」. 日本数学教育学会編、『算数・数学授業研究ハンドブック』（pp.246-255）. 東洋館出版社.

小山正孝（2022）.「算数科における『数学的な見方・考え方』の学びの文脈―第四学年『関数の考え』の意識化をめぐる―」. 広島大学附属小学校学校教育研究会『学校教育』, 第1256号, pp.38-43.

中学校部会



演題 具体的教育課題から「数学的な見方・考え方を働かせる」を考える

講師 山田 篤史氏（愛知教育大学教授）

プロフィール

1992年 広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了
1992年 私立英国暁星国際学園教諭
1994年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期（1995年 中途退学）
1995年 兵庫教育大学学校教育学部助手
1999年 愛知教育大学助手
2002年 愛知教育大学助教授
2013年 愛知教育大学教授

主要業績

中原忠男・山田篤史・清水紀宏・山口武志・影山和也・小山正孝・飯田慎司・植田敦三（2011）.「潜在的な数学的能力の測定用具の活用化に向けた開発的研究（Ⅴ）―思考力に対する潜在力指導の効果の検討―」. 全国数学教育学会『数学教育学研究』, 第17巻, 第2号, pp.65-74.

清水紀宏・山田篤史（2015）.「算数・数学の授業におけるインフォーマルな表現を捉える枠組み」. 全国数学教育学会『数学教育学研究』, 第21巻, 第2号, pp.89-102.

山田篤史（2021）.「比・比例・割合の概念形成の一環としてのプリフォーマルな表現の理解を支える諸活動」. 愛知教育大学数学教育学会誌『イブシロン』, 第62巻, pp.43-52.

高等学校部会



演題 数学的に考えるレジリエントな資質・能力を育成する質の高い数学教育

講師 吉村 直道氏（愛媛大学教育学部教授）

プロフィール

1995年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期中退
1995年 広島県安芸郡熊野町立熊野中学校常勤講師
1996年 高松第一高等学校教諭
2001年 広島大学附属中学校・高等学校教諭
2007年 愛媛大学教育学部講師，准教授（2010年～）
2017年 愛媛大学教育学部教授
2020年 愛媛大学附属高等学校副校長，学校長（2022年～）

主要業績

吉村直道（2014）.「数学教育における授業実践」. 小山正孝編著，『教師教育講座第14巻 中等数学教育』（pp.100-113）. 協同出版.

吉村直道・山口武志・中原忠男・小山正孝・岡崎正和・加藤久恵・前田一誠・宮崎理恵（2015）.「算数・数学教育における創発の捉え方に関する解釈的研究：創発を生み出す授業の活性化を目指して」. 日本教科教育学会『日本教科教育学会誌』, 第38巻, 第2号, pp.47-56.

吉村直道・富永剛志・宇都宮憲二・山本泰久（2022）.「中学校数学科の学習において一次関数とみなして問題解決する学習のあり方についての研究」.『愛媛大学教育学部附属科学教育研究センター紀要』, 第1巻, pp.50-59.